



(公社)日本表面科学会 第89回表面科学研究会
平成28年度中部表面科学シンポジウム

「将来の自動車に向けた表面科学」

主催 日本表面科学会

後援 (依頼中を含む) 応用物理学会東海支部、日本真空学会東海支部、日本物理学会名古屋支部、
応用物理学会薄膜・表面物理分科会、自動車技術会

私たちの生活に必須になっている自動車は、様々な先進の技術が応用されてきています。自動運転、各種通信技術をはじめ、環境・エネルギー関連分野においても、リチウムイオン電池、燃料電池、高効率低損失のパワーデバイス、および高度な排気浄化技術が搭載されてきています。その結果、快適で、省エネルギーかつ、環境にやさしい自動車が世の中にどんどん登場しています。本研究会・シンポジウムでは、今後ますます発展していく環境・エネルギー関連技術の中から、自動車に向けた太陽電池技術、二次電池技術、パワーデバイス技術、および化学センサー技術を表面科学の視点も関連して、第一線でご活躍中の講師の方々にご講演いただきます。皆さまのご参加をお待ちしています。

1. 日時 2017年1月28日(土) 13:00-17:20
2. 場所 名工大 2号館0221講義室
3. プログラム
 - 13:00-13:05 開会あいさつ 堀尾 吉巳(中部支部長)
 - (1) 13:05-14:05
「電気自動車のあるべき姿」
植田 憲一先生(豊田理化学研究所)
 - (2) 14:05-15:05
「表面/界面が支配するリチウム二次電池の信頼性」
佐々木 巖先生(豊田中央研究所)
 - 15:05-15:15 休憩
 - (3) 15:15-16:15
「自動車用パワーデバイス」
恩田 正一先生(名古屋大学)
 - (4) 16:15-17:15
「環境モニタリングとしてのガスセンサ技術」
申 ウソク先生(産業総合研究所)
 - 17:15-17:20 閉会あいさつ 市村 正也(中部支部副支部長)

4. 参加費（テキスト代含む、消費税含む、当日会場にて受付）
会員（後援学会員を含む）2000円、学生1000円、一般4000円
閉会後の懇親会参加費4000円（参加希望者は講演参加申込時にご連絡ください）

5. 申込方法

参加定員100名

ウェブサイト(<http://www.sssj.org/>)から直接申し込むか、e-mail (shomu@sssj.org)、
またはFAXにて、次の項目をご記入のうえ 日本表面科学会までお申込ください。

- (1)氏名（ふりがな） (2)所属 (3)連絡先（郵便番号、住所、電話番号、
メールアドレス）(4)参加区分（会員※後援学会員を含む、 学生、 一般）
締め切り：2016年1月14日（土）

6. 問い合わせ先

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 愛知学院大学 城貞晴

e-mail: sadaharu@dpc.agu.ac.jp

*お申込に際しご記載いただきましたメールアドレスは、日本表面科学会が主催する本件
以外のセミナー・講演会などのご案内にも使用させていただく場合がございます。ご案内
が不要な方はお手数ですがその旨お申し出ください。

7. 会場案内

JR 中央線「鶴舞」駅または地下鉄車 中央線

徒歩 5~10 分 名古屋工業大学2号館 0221講義室（正門から正面に見える建物です）

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町



公益社団法人 日本表面科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-13 本郷3-ポレイン402

電話 03 (3812) 0266 FAX. 03 (3812) 2897

E-mail: shomu@sssj.org

URL: <http://www.sssj.org>